

本人発信支援の 取組みについて

- 1 本人ミーティング・チームオレンジ活動報告
(地域包括支援センター対象アンケート結果)
- 2 その他の本人発信支援の実施状況(予定)
- 3 令和4年度の本人発信支援の取組みについて

令和4年1月20日
高齢者支援課

1 本人ミーティング・チームオレンジ活動報告

(地域包括支援センター対象のアンケート結果より 令和3年11月現在)

本人ミーティングの開催状況

開催している	開催予定がある	未定
15	8	2
6%	32%	8%

本人ミーティングの開催場所

街かどケア カフェ 常設型	街かどケア カフェ 地域連携型	区立施設	地域活動団 体の活動ス ペース	地域施設	その他
9	1	12	3	2	5
28%	3%	38%	9%	6%	16%

1 本人ミーティング・チームオレンジ活動報告

(地域包括支援センター対象のアンケート結果より 令和3年11月現在)

本人ミーティング・チームオレンジ活動の事例

	事 例
本人の意見を活かした活動	<ul style="list-style-type: none">・ 認知症当事者同士の話を中心に地域づくりや活動について話し合っている。・ 当事者の作成した手芸作品を地域施設に展示することになり、本人の意向を反映した展示になるよう本人ミーティングで話し合い、メンバーが参加し展示の準備を進めた。
サポーター・ボランティアの活動	<ul style="list-style-type: none">・ 本人ミーティングの進行（事前・事後の打ち合わせ有）・ とうきょう認知症希望大使の活動への同行・ 本人ミーティングに参加する本人の送迎・ 介護者の集まりへの支援等・ チームオレンジメンバーも高齢もしくは障害のある方に手伝ってもらいその方の力を引き出せるようにしている。
今後の活動にむけて	<ul style="list-style-type: none">・ 本人がやってみたい取り組み（人の役に立ちたい）への同行を予定している・ 傾聴ボランティアと協力し新たな本人ミーティングの場の立ち上げ（予定）

1 本人ミーティング・チームオレンジ活動報告

(地域包括支援センター対象のアンケート結果より 令和3年11月現在)

課題等(自由意見から)

	内容
本人について	<ul style="list-style-type: none">・チームオレンジを前面に出すと認知症の自覚のない人や否認している人を誘いにくい。・参加者の固定が難しく継続的な活動等ができていない。・参加者を増やすための周知案内など手探り状態である。
場所について	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の影響で場所の確保が難しい
運営について	<ul style="list-style-type: none">・これまでになく本人の話をゆっくり聞け、開催をきっかけにご家族からも本音がきけた。話す機会の重要性を再認識した。・本人同士が語り合うための会の進行に工夫が必要。・利用者同士のマッチングに難しさを感じる。・当事者の参加を増やしていくためにどのような形式で開催したらよいか、周知案内方法も含めて検討中。

1 本人ミーティング・チームオレンジ活動報告

(地域包括支援センター対象のアンケート結果より 令和3年11月現在)

生活支援コーディネーターとの関わり

関わりの内容	件数
地域に関する情報提供や相談対応をしてもらった	8
本人やボランティア、開催場所についての情報提供	1
本人ミーティングへの参加	2
本人ミーティングへの運営やチーム形成についての意見をもらった	3
本人ミーティングの運営やチームのメンバーになっている	3
その他(相談予定を含む)	11

「生活支援コーディネーター」は、生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘等、地域資源の開発やネットワーク化を行っている。日頃から地域包括支援センターと連携する中で、認知症に関する事例があり、チームオレンジ活動に関しても連携・情報共有を進めている。

2 その他の本人発信支援の実施状況（予定）

媒体・場	内容
認知症ガイドブック	とうきょう認知症希望大使からのメッセージや、ご本人の声の紹介、介護している家族の体験談等の掲載を検討
練馬区役所本庁舎内 （1月後半予定）	認知症本人の作品を掲示
キャラバン・メイト 連絡会 （2月開催予定）	とうきょう認知症希望大使の講演のほか、区内の本人ミーティングの様子や認知症の人本人等の声を動画で紹介する。 キャラバン・メイト（認知症サポーター養成講座の講師役）

とうきょう認知症希望大使とは
「認知症施策推進大綱」に基づき、都民への認知症の理解の促進及び認知症の人本人からの発信を支援するための取組を推進するため、「とうきょう認知症希望大使」を設置。大使は、練馬区在住の長田米作さん（88歳）をふくめ、5名が選任された。任期は、令和5年8月まで。

3 令和4年度の本人発信支援の取組みについて（案）

本人ミーティング・チームオレンジ活動を行ううえでの課題等への意見交換や好事例等を共有する機会の確保

例：医療と介護の窓口連絡会等の活用
各種研修会の活用 等

認知症の人本人が自分らしく前向きに過ごす姿を発信し、地域における認知症の理解をさらに深めるため、認知症の人本人からのメッセージ等を紹介する場を広げる。

例：ホームページの活用
区民向け講座等における紹介 等